

---

# ガラクタの歌

マテリアル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ガラクタの歌

### 【Nコード】

N5562A

### 【作者名】

マテリアル

### 【あらすじ】

「意思はあるが心がない」人形たちの物語。彼らは旅の行く先で知る様々な真実。それでも彼らは目に見えない何かを探している…。この人形は未完成だ。

## プロローグ

この人形は未完成だ。

未だに争いがあつた時代、とある国に大金を山のように積み上げられ、当時天才と名高いラルク博士に、

「最強の戦士が欲しい」

と、言われた。博士は欲と好奇心により、承諾した。こうして作られた

「ナイト」

と呼ばれる人形はその戦闘能力と忠実さにより、だんだんと戦闘の中心となつた。結局、

「ナイト」

を手に入れた国が瞬く間に勝利を重ねていった。しかし、長く続く戦争により、指揮する存在となる将軍も少なくなっていた。そこで、さらなる要求をした。

「意思をもつ人形を作れ」

と。

しかし、博士は作ることができなかった。所詮意思を持たせるのは無理だつたのだ。その結果、三体の失敗作ができてしまった。

「意思はあるが心がない人形」  
を。

ラルク博士はすぐに処分しようとするが、なんと逃げ出したのだ。

理由は分からなかったがとにかく捕まえないければいけなかった。他の国に機密が知られる前に。そして逃げ出した理由を知るために。

こうして、物語は始まる……。

## ブログ（後書き）

頑張りました!!

いろんな人からの評価を待ってます!!

## 第1話

青年は空を見つめていた。少し濁った空。見渡せばどこかで必ず煙が立っている。それはどこの景色でも大抵はそうだった。まだ各地では戦争は続いている。今この瞬間にも誰かが命を落としているのかも知れない。しかし、彼は何も感じない。憎いと思う気持ちも哀れむ気持ちも。そして再び彼は深い森の中へ入っていった……。

「ホントに見たんだって！」

小さな村ラインヒアの小さな家の中で少年は大声を出している。それをもう一人の少年が手で制止しながら、

「テト、うるさい」

と一言だけ言った。

「なんだよ！オレの目が信じられないのかよ！」

「だからうるさい」

これでは話が一向に進まないと思ったのか、テトは勝手に話始めたのもう一人の少年―クレイ―はとりあえず聞くことにした。テトはなんでもおおげさに話すので、簡単にまとめると、

「森へへんなヤツらが入っていった」

ということらしい。しかしなんら不思議なことではなかった。

「それがどうしたんだ」

つまらない話題だったので、少し刺々しい口調で聞くが、その次の言葉に、彼は態度を改めなければなかった。

「それがあの噂のナイトらしいんだよ」

クレイは手早く支度を行った。もちろんテトもだ。ラインヒア特産

のたくさんの果物キュアンを鞆に詰め込みながら、クレイの中では憎しみの思いがだんだんと大きくなっていくのが分かった。そして腰にナイフを差すと、テトを急かしつつ森に向かって歩き始めた。その後になにがあるかも知らずに…。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5562a/>

---

ガラクタの歌

2010年11月5日07時01分発行